

平成 24 年(2012 年)2 月 9 日

## 平成 23 年度滋賀県がん診療連携協議会

### 第 3 回がん登録推進部会議事概要

日時：平成 24 年(2012 年)2 月 9 日(木) 16:30~17:30

場所：滋賀県立成人病センター新館 11 階会議室

出席者：目片英治、太田悦子(滋賀医科大学医学部附属病院)

(代理)中島英幸、森明子(大津赤十字病院)

寺村清一郎(公立甲賀病院)

寺村康史、麓佐妃代(彦根市立病院)

東出俊一、堀江智美(市立長浜病院)

田中一史(成人病センター)

欠席者：川上賢三部会長(成人病センター)

土井隆一郎副部長(大津赤十字病院)

朝倉庄志(公立甲賀病院)

加賀爪雅江(滋賀県健康福祉部健康推進課)

<敬称略>

#### 討議内容

##### 1. 2010 年診断データ収集結果報告

- ・ 国立がん研究センターへのデータ提出が 2007 年診断分から国立がん研究センターへのデータ収集がはじまり、滋賀県においても提出データを独自に収集してきた。2007 年診断から 2010 年診断までのデータをひとつにまとめ、部位別に、UICC 臨床病期、外科的治療とその内容について、資料のとおり集計した。
- ・ 5 大がんと膵癌について、診断年別部位別施設別の初発がんの件数を集計した。
- ・ 地域がん登録届出数の推移と、そのうちに占める拠点病院からの届出件数を調べた。これは、診断年ではなく届出年を基準に集計したもので、拠点病院の指定と実務研修会・相談会の開催により、届出数は 5 年前の倍以上である。拠点病院からの届出は、約 6 割を占めている。
- ・ 今後は、手術症例について UICC 臨床病期と病理学的病期を比較し、術前診断の妥当性をみるなど、分析を進める必要がある。
- ・ 本部会で収集した 2007 年診断から 2010 年診断までのデータを一本化したものを各拠点病院に配布し、それぞれに分析を試み、来年度の部会に持ち寄る。

##### 2. 今年度の事業報告

今年度の事業は下記のとおり実施した。

月日	事業	開催場所
8 月 18 日	第 1 回部会	成人病センター
10 月 5 日	実務相談会① 【参加者 20 名】	市立長浜病院

10月24日	実務研修会①【参加者39名】 「血液腫瘍の診断と治療」 滋賀医大 血液内科 程原先生	滋賀医大
11月30日	2010 診断分データ提出前収集	成人病センター
12月6日	実務相談会②「データ提出前相互チェック」【参加者20名】	大津日赤
12月8日	第2回部会	成人病センター
1月10日	2010 診断分データ提出後収集	成人病センター
1月17日	実務研修会②【参加者18名】 「頸部がんの診断と治療」 公立甲賀病院 耳鼻科 花満先生	公立甲賀病院
2月9日	第3回部会	成人病センター
3月8日	実務相談会③【参加申込15名】	成人病センター

- ・ 実務研修会については京都府にも案内し、10/24の第1回研修会には京都府から3名の参加があった。
- ・ 実務研修会・相談会への参加状況を別紙のとおりまとめた。拠点病院・支援病院からの参加が多く、院内のがん登録体制が整いつつあることが伺える。それ以外の病院からの参加も多く、地域がん登録への届出に協力している病院の数が21であるのに対し、研修会等には26病院から参加があった。DPCにおける医療機関機能係数の評価や、診療報酬における医師事務作業補助業務の評価などによって、各病院のがん登録に関する関心は高くなっている。
- ・ 1/17の第2回実務研修会では、開催地の公立甲賀病院によりアンケート調査を実施いただいた。結果は資料のとおり。全体に参加者の満足度は高かった。

### 3. 来年度の事業計画（案）

来年度の事業計画は下記のとおりとする。

月日	事業	開催場所
4月	実務研修会①【がん登録統計について①】 ※講師:大阪府立成人病センター 井岡亜希子先生	成人病センター
5月	実務研修会②【がん登録統計について②】 ※講師:大阪府立成人病センター 井岡亜希子先生	成人病センター
5月	第1回部会	成人病センター
6月	実務相談会①	
9月	第2回部会	成人病センター
10月	実務相談会②	
11月	実務研修会③【テーマ未定】	
1月	2010 診断分データ提出前収集	成人病センター
2月	実務相談会③	
2月	第3回部会	成人病センター

#### ① 実務研修について

- ・健康推進課より、今年度のように上半期の事業が空白にならないよう、早期に年間計画を立てるよう指導があった。このため、今回の部会において来年度の計画を立てる。
- ・来年度は「がん対策計画」を評価する年であり、データ集計および分析に重点的に取り組む必要ため、がん登録実務に加えてデータ集計および統計の標準的な統計手法を学ぶ必要がある。ついては、今年度の研修会のテーマを「がん登録統計」とし、大阪府立成人病センターがん予防情報センター企画調査課の井岡亜希子先生にご指導をお願いする。（事前にご相談し、内諾は得ている。詳細日程は未定。）
- ・滋賀医大の太田委員が今年度の国立がんセンターの指導者研修を修了しており、がん登録実務支援や相談に関して、積極的にかかわっていただきたい。

#### ② がん対策計画における達成目標について

- ・計画では「5年生存率の公表」が全拠点病院の目標となっているが、院内がん登録の開始年から5年未満の拠点病院では不可能なことになる。5年生存率の算出が可能なのは、成人病センター、市立長浜病院、大津日赤の3病院となる。
- ・公表に際しては一定の精度（全国がん成人病センター協議会の示す公開基準：予後判明率95%以上）が必要であり、予後（生存確認）調査の実施が課題である。
- ・5年生存率算定においては、NAC（術前化学療法）実施症例の扱いにも配慮する必要がある。また、臨床ステージによる評価だけではなく、術後ステージも考慮しなければならない。
- ・基本的には、拠点病院標準登録様式に定める項目とルールに従って登録し集計する。

#### 5. その他

- ・平成24年1月診断分より「UICC TNM 悪性腫瘍分類第7版」による分類を行なうよう通知があった。（原発性肝臓取扱規約は第4版から第5版に準拠したもの）
- ・3/8に予定している第3回実務相談会の会場を、彦根私立病院から成人病センター（東館講堂）に変更する。
- ・公立甲賀病院は来年度新築工事予定のため、研修会等の会場提供は6月までしか対応できない。
- ・従来、部会は概ね木曜日で開催してきたが、本日の参加者によるスケジュール確認の結果、来年度より月曜日または金曜日で開催する。

以上